





S邸外観



玄関



キッチン内部



ダイニング・キッチン

「木の臭いがする、と言う人や吹き抜けがあつて、どうしてエアコン一台で寒くないの?と不思議がる人。床暖房だと思ふ人もいます。住宅の性能が創つて

お友達やご両親はどんな感想なのでしょう?

「木」の臭いがする、と言う人や吹き抜けがあつて、どうしてエアコン一台で寒くないの?と不思議がる人。床暖房だと思ふ人もいます。住宅の性能が創つて



リビング

「星ヶ峯の展示場で、エアコン一台で暖冷房が実現しているのを体感して、松下孝建設に決めました。」とご主人。

「去年の12月にお引き渡しというのですが、この冬実際にエアコン一台で大丈夫でしたか?」

「営業担当者に高性能住宅とはどんな住宅ですか、と聞いたときに「性能は光熱費に表れます」と解説されましたが、全くその通りでした。入居後、エアコンは24時間運転ですが、オール電化で一ヶ月平均、1万3千円程度の電気料です。

高性能住宅を確信したのは、どんな処ですか?

「営業担当者に高性能住宅とは

吉野の高台に建つS邸は、桜島を借景にする素敵な住宅でした。

お施主様S邸(4人家族)建設地 鹿児島市吉野

お施主様S邸(4人家族)建設地 鹿児島市吉野

お施主様ご訪問

「松下孝建設」のお施主様にお聞きしました。

お伺いした日はあいにく、台風5号の接近中で、風雲急を告げる空模様でしたが、休日の午後、御主人と奥様からお話しをお伺いして参りました。

の出産時期と住宅の引き渡しは重なったので、寒い吉野でしかも周囲に何も無い、吹きさらしに建っている住宅ですから、私達よりも親達が心配しましたが、なにも問題無く、エアコン一台で8ヶ月を過ごしています。空気の質がとても良く、子供達は病気が無い病気が無いので、快適に生活しています」と奥様。

「この住宅が完成する前も同じ吉野に親戚の住宅を借りて住んでいましたが、昔の住宅でですから結露とカビに悩まされていました。それに寒さも厳しく、下の子の出産予定もあるので、このまま、この家で子育てをするのは妻も子供にも負担が大きという思いから、住宅建築を断りました。営業担当者に説明していただいた通りの高性能住宅で、とても満足しています。エアコン一台で大丈夫かなという懸念もありましたが、冬の暖房も夏の冷房に対しても、問題無くクリアしています。結露もカビの心配も、全くありませんでした」とご主人。



S邸のご家族



和室

最後にこれから建てられる皆様へアドバイスをお願いします。

「新車と同じように、住宅も新築さえすれば高性能になると思つて展示場を見学していましたが、最も大切なのは、見た目よりも住宅性能と直視して再度、各展示場を見学し直された方が、エアコン一台で暖冷房を実現していたのは松下孝建設だけでした。更に高性能住宅は合理的で美しい住宅になることを発見し得る。話を聞いてご自分が納得出来る、本物の高性能を選択してください」とご主人。

「この住宅ではエアコンの要らない中間期は、8千円程度で納まるので聞いていますから、今から楽しみです」と奥様。

「このままの電気料金なら、高く見積もっても年間15万6千円程度です。家族構成にもよりますが、以前の住宅や親たちの住宅では確かに3万円から3万5千円は必要かなと思いましたが、年間24万円浮き、これが35年続くと、840万円もの削減になります。子供一人の学費に相当する分です。解説されても疑問暗鬼でしたが、実際にこの住宅に住んでみて、確かに「住宅性能は光熱費に表れる」という営業担当者の話に、根拠のあることが分かりました」とご主人。

HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY ハイブリッド・エコ・ハートQ 「特別優秀賞」・「特別優秀企業賞」W受賞!!

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」主催(財)日本地域開発センター[主務官庁:国土交通省]において、松下孝建設のハイブリッド・エコ・ハートQが、「特別優秀賞」及び「特別優秀企業賞」を受賞しました。「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」に変更になって以来、2013年度の大賞を含め連続6度目のダブル受賞となりました。偏にお施主様のご協力の賜と深く感謝申し上げます。



「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック」を継承した国土交通省の外郭団体である(一般財)地域開発センターが主催する住宅のエネルギー消費削減を目指した住宅性能に関する審査会です。



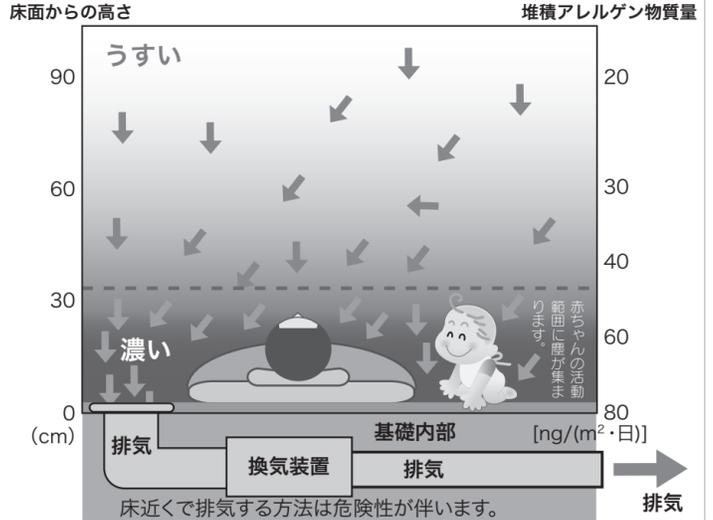
住宅造りに失敗しない工法の基礎をお知らせ致します。

松下孝建設が発刊した「百年住宅を建てる知識」を紹介致します。記事内容に興味のある方は、松下孝建設のホームページや☎0120-079-089でお申し込み頂ければ進呈致します。大切な家族のための住宅ですから、より快適な住環境を求めて、様々な施工店の工法を検討されていると思いますが、中には根拠が薄弱で欠陥を引き起こす危険性がある工法など、選択しない方が無難な工法もあります。2020年にはZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)が標準化されます。この小冊子は、誰も詳しく教えてくれない工法による断熱や気密の違いや根拠、ヒートポンプによる「低温暖冷房システム」の基本について解説しています。皆様の住宅建築にお役に立てれば幸いです。

この様な図には注意が必要、換気装置を基礎内部に設置する根拠を明らかにしてもらふべきです。

Table with 2 columns: 重さの単位, 表・1. Rows include mg, μg, ng, pg with their respective gram equivalents.

表・1のように、室内を舞う「粉じん」の大きさはng(ナノグラム)という単位で10億分の1グラムの大きさです。映画館で光線に大量の粉じんが舞っているのを見て、ビックリしたこともあると思いますが、粉じんが舞っていても光線がなければ、我々は全く気づきません。PM2.5のような微細な有害物質も大気を浮遊して、大陸から運ばれてくるように、10億分の1グラムの物質が自重で理想通り床に落下してくることは希です。微細な粉じんは室内でも浮遊中に集塵した方が合理的です。



排気口を床に設けている工法がありますが、その理屈は「日中、エアコンなどで舞い上がった粉じんが、深夜になるとエアコンが停止され、床に沈降するのでそれを床で排気する」と、一件合理的ですが微細な粉じんは少しでも風の動きがあると浮遊します。建築基準法では換気回数が1時間0.5回と義務づけられ、2時間に1回、住宅の空気が入れ替わる時の微風が攪拌して、微細な粉じんは浮遊したまま沈降しません。日常生活でも、畳の部屋やベットの寝ている場合も、床にある排気口が強制的に排気する、空気に含まれる粉じんをまともに吸い込むことにもなりかねません。最も問題になるのは、汚れが濃くなる床付近の30センチが、乳幼児の活動範囲と重なることです。乳幼児が排気口に興味を示して、近づいていった場合、排気口に集まる粉じんをまともに吸うことにもなりかねません。この様に、重量のある物は全て床に落ちるといふ一件合理的に思える考えですが、粉じんは軽すぎて中々床には落ちてきません。たばこの煙や煙突の煙は個体ですから最終的には落下しますが、熱がある内は空中を浮遊します。従って浮遊している粉じんは高所で捕集した方が合理的です。床に沈殿した粉じんは定期的に掃除機で拡散させないように吸い取るのが合理的な空気管理になります。

工法シリーズ 50 換気装置の床排気口は子供や就寝時の布団の高さに沈降し危険。 何か? 本物とは、 百年住宅を建てる知識④!